

70	水道技術管理者の資格基準		環境・衛生 義務付け・枠付けの見直し																			
団体名	仙台市(宮城県)	人口	1,038,522 人																			
事例のポイント	<p>○ 土木工学科の出身職員とそれ以外の工学系学科の出身職員が実務上区別なく業務を担っていることを踏まえ、水道技術管理者への登用における技術系職種間の経験年数の差を撤廃するため、平成 24 年 3 月、「仙台市水道事業給水条例」を改正し、水道技術管理者の実務経験年数基準を策定。</p> <p>○ 管理者有資格者の幅広い確保により、適切な人材登用を推進。</p>																					
背景・目的	<p>仙台市の水道施設は、昭和 30 年代以降の拡張事業期に土木分野の業務が集中した段階から、施設の維持管理を円滑に実施する段階を迎え、業務内容において職員の職種による実務上の差異は小さくなっている。</p>																					
内容	<p>仙台市の水道施設は、施設の維持管理を円滑に実施する段階を迎えており、業務においては土木系以外の技術職員も土木系と同等の能力をもって実務を担っている。</p> <p>その中で、国の基準では技術面の責任者である水道技術管理者の資格については、出身学科により実務経験年数に差があったが、第2次一括法により改正された水道法により、国の基準が「参酌すべき基準」とされた。</p> <p>これを受け、仙台市では、平成24年3月、「仙台市水道事業給水条例」を改正し、下表のとおり、従来の国の基準から1年短縮し、土木工学科履修者と同じ実務経験年数とした(同年4月施行)。</p> <p><実務経験年数の短縮の例></p> <table border="1" data-bbox="395 1249 1305 1529"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1249 735 1395" rowspan="2">学校及び専攻別の 実務経験年数 (外国の学校を含む)</th> <th colspan="2" data-bbox="735 1249 1098 1344">工学(土木工学科以外)、 理学、農学、医学、薬学</th> <th data-bbox="1098 1249 1305 1344">土木工学科</th> </tr> <tr> <th data-bbox="735 1344 906 1395">国基準</th> <th data-bbox="906 1344 1098 1395">市基準</th> <th data-bbox="1098 1344 1305 1395">国・市基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1395 735 1440">大学</td> <td data-bbox="735 1395 906 1440">4年</td> <td data-bbox="906 1395 1098 1440">3年</td> <td data-bbox="1098 1395 1305 1440">3年</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1440 735 1485">短期大学・高等専門学校</td> <td data-bbox="735 1440 906 1485">6年</td> <td data-bbox="906 1440 1098 1485">5年</td> <td data-bbox="1098 1440 1305 1485">5年</td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1485 735 1529">高等学校・中学校</td> <td data-bbox="735 1485 906 1529">8年</td> <td data-bbox="906 1485 1098 1529">7年</td> <td data-bbox="1098 1485 1305 1529">7年</td> </tr> </tbody> </table>			学校及び専攻別の 実務経験年数 (外国の学校を含む)	工学(土木工学科以外)、 理学、農学、医学、薬学		土木工学科	国基準	市基準	国・市基準	大学	4年	3年	3年	短期大学・高等専門学校	6年	5年	5年	高等学校・中学校	8年	7年	7年
学校及び専攻別の 実務経験年数 (外国の学校を含む)	工学(土木工学科以外)、 理学、農学、医学、薬学		土木工学科																			
	国基準	市基準	国・市基準																			
大学	4年	3年	3年																			
短期大学・高等専門学校	6年	5年	5年																			
高等学校・中学校	8年	7年	7年																			
効果	<p>国の基準を緩和することにより、多様な人材の中から水道技術管理者の選任が可能となり、より適切な人材登用が図られる。</p>																					
担当課 関連サイト	<p>仙台市水道局計画課 http://www.city.sendai.jp/soshiki/d/suido.html#10</p>																					